

「Marina Barrage in SINGAPORE」

訪問日時：8月26日

訪問手段：各自異なる

訪問場所：Marina Barrage

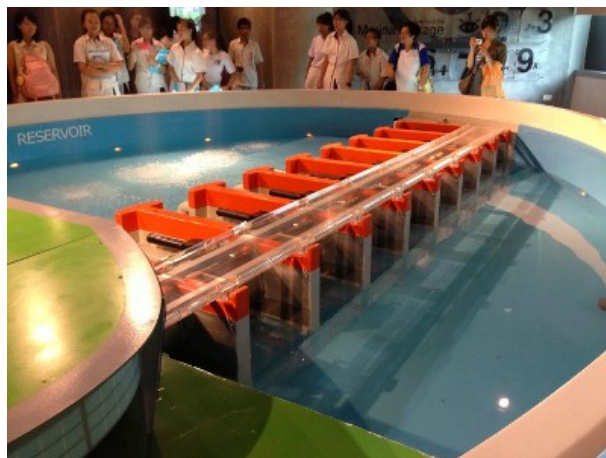
Marina Barrage とはマリーナ東と南の間マリーナ海峡、5川の合流点に構築されたシンガポールのダムのことであり、海水が入らないように350メートルの広いマリーナ海峡に構築している。またシンガポールの第15番目の貯水池でもある。マリーナ貯水池は、2011年にはパハン、セラングール貯水池も合流させ、シンガポールの国土面積の3分の2の半分からシンガポールの集水域を増加させた。2010年11月20日には、今後の世代のためにシンガポールの水の供給を増強し、淡水リザーバーとして、元首相メンター・リー・クアンユー委嘱された。脱塩は、雨水による自然交換を通じて、2009年4月に始まり、地元の流域水は、他の3水、ニューウォーターと脱塩水をインポートされ、地元の水供給の柱の一つとして、マリーナ貯水池は、シンガポールの現在の水需要の約10%を満たすことができている。



(実際見学した9つのゲートと巨大ポンプ)

Marina Barrage は9つの鋼鉄門で構成されている長さ350mにも及ぶ巨大ダムである。China town、Jalan Basar、Geylangなどの地域は、地盤が低いいため、雨季に洪水になりやすい。それを防ぐためのダムとして建設された。スコールが降り、貯水地区の水量が増加し、かつ干潮のとき、普段は閉鎖されているこの9つの門が開き、溢れそうな貯水地の水を外洋に流す。また、満潮の場合は、9つの鋼鉄門は閉鎖されたまま、門の脇にあるオランダ製の7つの巨大送水ポンプが水を外洋に逃す。この巨大送水ポンプの送水能力は素晴らしく、1つのポンプが、1分でオリンピックのプールを満杯にしてしまうほどの威力がある。下は、その鋼鉄門とポンプのミニチュアである。実際に、水を送

りだす行程をガイドさんに説明して頂いた。



(説明していただいたゲートとポンプの模型)

Marina Barrage のビジターセンターは上から見ると、貝殻のような形をしている。2階層の構造で、飲食が取れるお店もあり、マリーナ地区の水に纏わる歴史や、この Marina Barrage の取り組みなどを紹介したギャラリーなどがある。天井は芝生で覆われ、そこから、マリーナ・ベイ・サンズホテルや、シンガポールフライヤーなど、人気の観光スポットを一望することができ、非常に景観がよい場所である。子供ずれの家族がピクニックをしたり、ペットと一緒に遊んだりできる憩いの場であり、とても賑わっている。下はその写真であるが、天気が悪く、とてもどんよりとしているが、快晴の日にはきっともっときれいなはず・・・！また、夜景ならもっともっときれいなはず・・・！また行きたくなる場所であった。



(マリーナベイ・サンズなど有名な施設を見渡せる広場)

[タグ]

貯水池、巨大ポンプ、洪水防止、遊び場